

月刊 ととろ



独立行政法人国立病院機構
いわき病院

第197号

令和2年9月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

信条

- ◆ 患者さま本位の医療を行います
- ◆ 患者さま及び家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します

コロナ禍の外来診療

暑い日が続いておりますが、皆さま体調はいかがでしょうか？新型コロナウイルス感染症予防のため、来院される方々には暑い中でもマスクを着用していただき、正面玄関では検温と体調確認、手指消毒にご協力をいただいておりますが、皆様のご協力のおかげで未だ1人も感染者を出しておりません。ウイルスは目に見えない敵であり、この状況がいつ収束するのかも予想が難しいですが、気を緩めずに万全の体制を取っていきたいと考えております。

当院では現在厚生労働省の指針に従って、かかりつけ患者さんの定期処方に関し、電話によるオンライン診察・処方を実施しております。来院される日の午前中に処方依頼の電話を入れていただくと、体調確認と処方内容の確認をさせていただきます。その日の午後2時から4時の間に総合受付で処方箋が受け取れるシステムとなっております。通常の外来診察時間と受け取りの時間が重ならないように調整することで、感染のリスクを低くする工夫を行っております。



「診察を受けたいが、大勢の人と接触するのは心配。」という方はぜひ電話処方をご利用ください。

これからも皆様が安心して診察を受けられるよう対策を講じてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

外来看護師長：琴畑 利昌



ウイルス
除菌セット
3

コロナ禍の療育活動

今年は、新型コロナウイルス感染症が流行し、私たちの日々の生活の中に「新しい生活様式」が取り入れられるようになりました。療養生活を送っている入院患者さんの生活の中にも「3密」という言葉が聞かれる様になり、重症心身障がい児（者）病棟を中心に行っている療育活動や行事なども、より一層感染予防対策に注意を払いながら実施しています。

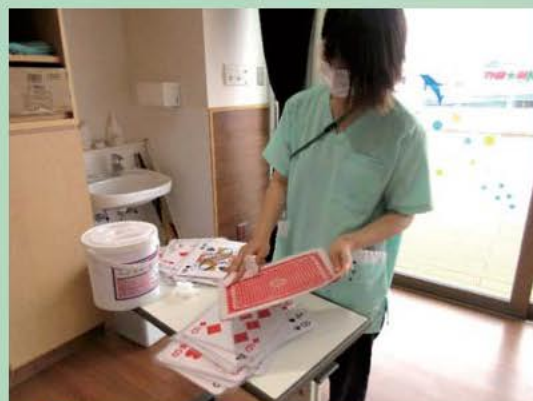
昨年までは、お誕生会や季節の行事に家族参加やボランティアの受け入れを行っていましたが、今年では中止となりました。皆さん楽しみにしていたので大変残念でなりません。しかし、全てを中止にするのではなく、感染予防対策をしながら、その中で出来る事を工夫して行っていくのも、私達職員の役割だと感じています。外に出られない患者さんがウィルスを持ち込む事は不可能です。私達が外からウィルスを持ち込まないよう、手洗い、手指消毒、マスク着用はもちろん、療育活動で使用する物品の消毒も普段より念入りに行っています。また、療育活動中は、換気も行っています。行事など、患者さんが多く集まる時は、間隔を開けてフィジカルディスタンスを保つようにしています。患者さんに楽しんで頂ける活動を提供出来るよう職員一丸となって、取り組んでいきたいと思ひます。

早く、いつも通りの日常が戻ってくることを切に願っています。

療育指導室 主任保育士：小野寺 亜紀



療育活動中は換気を行っています



療育活動で使用した物品は消毒しています



誕生会などの行事では
フィジカルディスタンスを保っています

防災訓練

7月29日、今年度1回目の防災訓練が行われました。訓練出火場所は、1病棟職員休憩室、昼間を想定し、通報訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等の一連の消防行動を訓練しました。前日からスタッフと何度も避難経路、避難誘導等を確認し、本番に臨みました。

いざベルが鳴ると緊張感と責任感が走り、前日より細かくシミュレーションしていたことで自然に動くことができました。リーダーと共に応援者への指示を大声で依頼し患者さんを安全に非難、誘導することができ、無事全員避難させることができました。同時にコロナ禍のため、全員がマスクを着用したままで声をかけあうことから、いつも以上にオーバーなアクションが必要だということを再認識しました。また、その後の消火器訓練では、火元の遠いところから消火器ホースを左右に動かしながら、徐々に火元に近づいていく必要性も改めて理解することができました。

今回の防災訓練を体験して、日頃から危機管理とともに、病棟で避難経路、避難誘導等を確認していくことが大切だと改めて感じました。

第1病棟 看護師長：高橋 佑美



自己紹介



薬剤師 飯塚 あすか

8月に入職しました薬剤科の薬剤師飯塚あすかです。今年薬剤師免許を取り、いわき病院で初めて薬剤師として働く薬剤師1年目です。まだまだ慣れない業務も多く、日々、業務習得に向けて勉強しながら仕事をしております。早く様々な業務がスムーズに出来るよう、一步一步前進していきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



NHO PRESS ~国立病院機構通信~

いわき病院は、全国 141 病院からなる国立病院機構 (NHO: National Hospital Organization) のひとつです。

NHO では各病院の活動を紹介する『NHO PRESS』を発行しています。

外来待合室などに設置しています。ぜひご覧になってください。

国立病院機構ホームページでは最新号と過去の『NHO PRESS』を掲載しています。



QRコード

NHO PRESS

検索

いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、脳神経内科、外科、脳神経外科、小児科 (小児神経疾患)、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30~11:30 (ただし、急患につきましては電話にてご相談下さい。)
- 診療時間 8:30~17:15

外来担当医師診療日程表 【平成31年4月~】

区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	診療室① 鈴木 診療室② 市原	診療室① 無量井(第2)	診療室① 鈴木 診療室② 齋		診療室③ 仙台医療センター
	診療室③ 尾田宣仁	診療室③ 會田隆志	診療室③ 尾田宣仁	診療室① 関 晴朗 (交代制)	診療室① 関 晴朗
午後	脳神経内科専門外来 (予約制)				
	神経難病 神経筋疾患 《診療室①》		(脳神経内科) 関 晴朗		
	小児神経外来 (予約制)				
後	小児神経外来 《診療室①》	(小児科) 柳沢俊郎			(小児科) 柳沢俊郎



お知らせ

◆患者相談窓口

患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

◆当院受診について

他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院地域医療連携室を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 **独立行政法人国立病院機構 いわき病院**
 National Hospital Organization Iwaki National Hospital
 責任者 院長 関 晴朗
 新所在地 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合 88 番地 1
 TEL 0246-88-7101 FAX 0246-88-7075
 ホームページ <https://iwaki.hosp.go.jp/>